

「インドネシアとベトナムの言語と文化」

2021年2月16日(火) 15:00~18:00 オンライン開催

○インドネシア語から見える世界 蓮池隆広（本学兼任講師）

○ベトナムの魅力：躍動する経済と情感溢れる人々 小川有子（放送大学兼任講師）

○インドネシアとベトナムと中国の文化の関係（座談会）

蓮池隆広＋小川有子＋土屋昌明（本学教授）

インドネシア語を勉強できる大学は国内で多くないですが、本学は全学部で受講できます。インドネシアは日本へのエネルギー資源の重要な供給地であり、働き手を含め、今後の必要性が高まることはまちがいありません。にもかかわらず、言語やイスラム文化などで日本人にはなじみが薄いです。

←ジャカルタの街角。看板はインドネシア語



ベトナム語は、新年度から国際コミュニケーション学部で始まります。ベトナムは日本との関係が良好で、ベトナムへの海外からの投資が最も多いのは日本です。日本の企業家はベトナムとの関係をすでに重視していますが、私たちはベトナムのことをあまり知りません。この機会に少し勉強してみることをお勧めします。

ハノイの孔子廟のお札。漢字とベトナム語→

*テーマに興味ある本学学生、一般の方々、どなたでもご参加いただけます。希望者は土屋（the0561 あ senshu-u.jp あ=@）に申し込み、Zoom のコードをもらってください。

